

第3回意見交換会 記録

1. 日時：令和元年 11 月 9 日 13 時 00 分～14 時 20 分
2. 場所：相生山緑地
3. 団体名：相生山緑地内道路早期完成協議会
4. 市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）
道路建設課 山中課長、可児主査（事業調整）
緑地事業課 岩本課長、中村緑地計画係長
5. 参加者：20 名
6. 当日の次第
 - (1) 開始のあいさつ
 - (2) 現地説明、質疑等
 - (3) 終了のあいさつ
7. 主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）
（意見交換会について）
 - 道路を通してほしいという主旨で、皆さんが参加している。しっかり道路について、説明してほしい。
 - 皆様からのご意見を伺っていく
（緑地計画について）
 - 相生山緑地のいつの自然を残そうとしているのか？
 - 道路建設当時は、人と自然が一体となった、里山。ドングリのなる落葉広葉樹を残し、森の中に光が差し込むことにより、生態系の豊かな自然を目指していた。
 - 実際に、そのような自然になるのか？
 - 緑地の事業に入っていない区域などでは、手入れがされていない樹林もある。自然遷移に任せると、落葉樹林から常緑樹の森になっていく。
 - マツを植えているグループがあるようだが、どのような木を植えていくのか？
 - 森をどのような姿にしていくかは、みなさんへ相談したり、専門家の方にもお話を聞きながら検討していきたい。
 - 市長は現場を見ているのか。現場を見て、どのように言っていたか？
 - 建設済の道路は、有効活用し、ユニバーサルデザインなども取り入れた緑地にせよとのこと。
（園路について）
 - 道路にならなかった場合は、この構造物はどうなるのか？
 - 有効活用することになる。公園の施設として、防災や誰でも使える施設などバリアフリーの観点からも有識者にも相談しながら検討していく。
 - 災害時の緊急避難路を通してほしい。園路となると通常は1車線しかない。園路となるとその運用はどうなるのか。将来、公園の工事に入る時には、この道路を作業用車両が通行できる。この道路がなければ、公園工事用の車両が、緑地周囲の道路に停まることになる。

- 公園内は原則、車両の乗り入れは禁止だが、駐車場までの通行については制限を解除することもある。ふれあいの丘へ東側からも西側からもアクセスできるように検討しているが、夜間の通行など、公園の利用も含めて課題もある。県営の大高緑地ではゲート管理などをしており、相生山緑地については検討しきれていない。

(道路について)

- 市長が替わったら、道路は通るのか？
- 市長が替わるたびに、方向性が変わるのは皆さんに迷惑をかけることもある。
- なぜ、真っ直ぐ通さないのか？ホテルへの影響はないと聞いている。
- 平成 26 年の市長の表明において、自然を選択したということ。
- 市役所の人からも市長を説得してほしい。ここに道路が通ると知って、土地を買った。道路が通れば、救急車も消防車も通れる。
- 具体的なご意見をたくさん伺うことも大切だと考えている。5 年前、市長へ説得したが、市長の選択により、現在はこの状況になっている。
- 道路があれば、山火事を遮断できる。早く道路を造ってほしい。
- 火災については、重要な課題だと認識している。消火活動できるスペースとして、建設済みの道路施設も活用したい。緑地の火災への対応も検討していく。

(その他)

- 徳林寺のグラウンド近くの倒木がそのままだが、だれが処理するのか？
- 土地の所有者を確認しなくてはならないが、民有地の樹木であれば名古屋市では処理できない。